

道民森づくりネットワークの集い アンケート調査・ご協力をお願い

北海道では、平成14年に全国に先駆けて「北海道森林づくり条例」を制定し、地域の特性に応じた森林づくりや、道民との協働による森林づくりなどが進められています。

「道民森づくりネットワークの集い」は、道民の自発的な森林づくり活動の中心となる森林ボランティアなどの活動を推進するため、森林ボランティア団体や道民などが集い、森林に関するさまざまな情報の発信や交換などをもとに、ネットワークの強化・拡大を図る目的で2004年から2006年までの間で3回実施してきました。この3年間をいわばファーストステージとして、さまざまな側面で森との関わりを持つ人たちが集い、森の恵みや活動成果を持ち寄りながら、互いの存在を知る・交流する・ネットワーク化を図る、を目的に行ってきました。その実施にあたっては、さまざまな分野、エリアで活動をしている方々に運営委員となっただき、年々参加の輪を広げることができました。

2007年からは、セカンドステージとして、より現場の活動者の視点に立って協働の森づくりのあり方を議論する場づくりを大きな目標の一つとしました。

北海道森林づくり条例にも掲げられている〈道民、森林所有者・行政、企業・団体等による協働の森林づくり〉を具現化の段階で、お互いの理念や目的、意図などの食い違いで、活動が前向きにならない、あるいは資金的、人材的に継続が困難、といった課題や問題が聞こえてきます。

森林資源の循環活用あるいは森林空間の活用といった面から見ると、道民が身近に森林とのふれあいや森林づくりを楽しみ、その活動をグレードアップする際に必要となるルールや制度を森林のゾーニングも含めて、もう一步踏み込んでいける議論が重要であると考えます。

本アンケート実施の目的は、活動者が根っこの部分で抱えている問題・課題と真摯に向き合い、そうした課題・問題を共有しブレイクスルーする糸口（キーワード）を見いだそうというものです。

また、「道民森づくりネットワークの集い'07」で開催する車座ディスカッションの議題の足がかりとしていきます。

本アンケート調査にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

なお、皆さまからご回答いただいた調査結果については、検討のための内部資料として取り扱い、団体が特定される内容で外部に公表することはありません。

また、ご回答をいただいた団体さんには本年度末頃に、調査結果の集計と道民森づくりネットワークの集い2007の報告書をPDF形式でCD-Rにてお届けをいたします。

平成19年10月5日

道民森づくりネットワークの集い'07 事務局

【回答用紙の返信先】

回答の返信は、恐れ入りますが下記事務局宛に FAX にてお願いいたします。

【回答期限】 **2007年10月19日(金)**

【道民森づくりネットワークの集い'07 事務局】

札幌市中央区北4条西5丁目林業会館(社)北海道森と緑の会内

TEL.011-261-9022 **FAX.011-261-9032**

(2) 会員(構成メンバー)・活動資金の状況についてご記入ください。

12	団体構成者に高齢化傾向は生じていますか？	① 問題化している ② 問題意識は持っている ③ 問題ない
13	会員の確保(保持)に苦慮していますか？	① 苦慮している ② その傾向にある ③ 苦慮していない
14	活動資金の確保はうまくいっていますか？	① 難しい ② 難しい傾向にある ③ 容易に確保できている
15	活動資金の確保はどのようにしていますか？ ※主なものを2つまで選択	① 会員等の会費 ② 企業助成金 ③ 公益団体等助成金 ④ 行政機関等補助金 ⑤ その他 ()

(3) 活動目的・フィールドについてご記入ください。

16	活動目的は明らかですか？	① 活動目的は明らかである ② 活動を維持するために本来の目的から離れつつある ③ 時代の変化により活動内容の変革が余儀なくされている ④ その他 ()
17	活動内容および状況について	① 決められた活動内容を行っていくことで問題はない ② 活動内容のマンネリ化が生じている ③ 現在、活動内容の変革を検討している ④ その他 ()
18	活動フィールドの確保について	① 特定のフィールドの確保が出来ている ② 活動の度にフィールドを確保している ③ フィールド確保に苦慮している ④ 特定のフィールドを探しているところ
19	活動フィールドの状況について ※主なものを2つまで選択	① 私有林のフィールドが多い ② 公有林(国・道市町村林等)のフィールドが多い ③ 私有林・公有林を問わずフィールドとしている ④ その他 ()
20	活動フィールドの制約について ※主なものを2つまで選択	① フィールドにおける制約は多い ② フィールドにおける制約はない ③ フィールドにおける制約は活動内容に応じて所有者との協議による

(4) 森林づくり活動についてご記入ください。

21	活動を行っている森林について ※主なものを2つまで選択	① 人工林 ② 天然林(雑木林等の二次林を含む) ③ 無立木地(荒地・原野等) ④ その他()
22	森林づくりの主な内容・手法について ※主なものを2つまで選択	① 植 栽 ② 下草刈り ③ 除伐・間伐 ④ 枝打ち ⑤ 歩道作業道整備 ⑥ その他()
23	団体に森林・林業あるいは森林整備の技術的なことについて詳しい人がいますか?	① いる ② いない ③ その他()
24	森づくり技術・技法の確保や向上について ※主なものを2つまで選択	① 技術(除伐・間伐等)の確保・向上に不便を感じている ② 団体に森林・林業に詳しい構成員がいるため問題はない ③ 必要に応じインストラクター等から指導を受けている ④ 文献等を参考に自ら独学で実践している ⑤ 関連団体等で実施される研修会等で技術を習得している ⑥ 特に何もしていない ⑦ その他()

(5) トライアングル・パートナーシップ(市民・企業・行政 等によるパートナーシップ)の形成等についてご記入ください。

25	貴団体ではトライアングル・パートナーシップが構築されていると思いますか?	① 構築されている ② 構築されていない ③ 活動内容によっては構築されている場合がある
26	トライアングル・パートナーシップの状況について	① 団体 - 森林所有者 - 企業等のパートナーシップが構築されている ② 団体 - 森林所有者の関係はできているが企業等の参画はない ③ 団体 - 企業等の関係はあるが特定の森林所有者との関係はない ④ 現在、トライアングル・パートナーシップを検討している ⑤ トライアングル・パートナーシップの必要性はない ⑥ その他()
27	除・間伐材の活用に関して	① 除・間伐材は団体活動の中で有効活用されている ② 森林所有者との協議により除・間伐材を団体活動に有効活用する場合もある ③ 除・間伐材はフィールドから出せないで、山積みのみで活用はしていない ④ 今後、森林所有者と協議して団体活動に有効活用する必要があると認識している ⑦ その他()
28	ボランティア団体等がより積極的に活動を行うためには、新たなルールづくりが必要でしょうか?	① 森づくりやフィールドでの活動・活用に関し新たなルールが必要 ② 中・長期的に新たなルールについて検討することが必要 ③ 現在の森林所有者と協定しているルールで十分である ④ その他()

